

令和7年度版 甲府昭和高校Can-doリスト

資 質	1	主体性	① 自ら <u>目標を設定</u> し、その実現のために計画的、 <u>意欲的</u> に取り組むことができる。【目標設定】
			② 各活動の目的を理解し、取り組み方を自分なりに <u>試行錯誤</u> しながら工夫することができる。【試行錯誤】
			③ 自分の <u>課題を自覚</u> し、その解決に計画的、意欲的に取り組むことができる。【課題の自覚】
	2	協働性	① グループワークなどの <u>協働的な活動</u> に、探究心を持って意欲的に取り組むことができる。【協働的活動】
			② 協働的な活動の中で、 <u>他者の意見を理解</u> しようと努め、自分の意見を深めることができる。【他者理解】
			③ 協働的、対話的な学習活動を通して多様の考え方に気づき、 <u>多様な視点</u> を持つことができる。【多様な視点】
能 力	1	思考力	① 課題の解決に向けて、筋道を立てて <u>論理的に考える</u> ことができる。【論理的思考】
			② 与えられた情報を鵜呑みにせず、 <u>批判的・客観的に考える</u> ことができる。【批判的思考】
	2	判断力	① 判断するために必要な資料や <u>情報を的確に収集する</u> ことができる。【情報収集】
			② 情報や自分の状況を客観的に捉え、自らの判断に基づいて <u>意思決定</u> を行うことができる。【意思決定】
			③ 状況の変化に柔軟に対応し、 <u>的確な行動</u> を取り、予想外の出来事に直面しても、迅速かつ <u>適切な判断</u> を行うことができる。【臨機応変に対応する能力】
	3	表現力	① 伝えたい内容を <u>論理的に整理して</u> 、明確にわかりやすく <u>表現</u> することができる。【論理的な表現】
			② <u>I C Tを有効に活用</u> して、他者にわかりやすく発表することができる。【ICTの活用】
	4	自己評価力	① 客観的視点を持って、活動の成果と課題を的確に <u>自己分析</u> することができる。【自己分析】
			② 目標達成に向けたプロセスを振り返り、 <u>自己肯定感</u> をもって次の目標を設定することができる。【自己肯定感】